

▼人口のうごき

人 口 113,953人 (−50人)
 男 54,586人 (−49人)
 女 59,367人 (−1人)
 世 帯 48,741世帯 (+42世帯)
 平成24年6月末日現在
 住民基本台帳登録数()内は前月比

▼テレホンサービス

- 市政だより
0897-53-1500 (常時)
- 当番病医院
0897-58-2200 (常時)
- 災害情報
0897-55-5551 (発生時)

▼編集後記

今夏の注目すべきイベントと言えば、やはりロンドン五輪でしょうか。この広報紙がお手元に届く頃には、すでに熱戦が繰り広げられていることと思います。

私が注目しているのは、アテネ、北京の二大会連続で金メダルに輝いた、競泳の北島康介選手です。4年前に丹原小学校で水泳教室を開いた時には、水中を滑るような平泳ぎを披露。独特な語り口で、児童たちの心を掴んでいました。

今大会には北島選手はもちろん、やり投げの村上幸史選手ら愛媛県出身選手も出場します。普段はスポーツと縁遠い私ですが、テレビの前でしっかり応援したいと思います。(や)

今月の「あまり知られていないかも!?」シリーズは、羽柴(豊臣)秀吉による四国攻めの戦いの一つである「天正の陣」のなかでも、『野々市ケ原の決戦』で討ち死にをした、黒瀬飛騨守道信という人物にちなんだものです。道信、実は西条の人ではなく土佐(高知県)の生まれ育ちで、かの長宗我部元親の重臣

臣を務めていました。当時の東予地方が元親の傘下(史実としては同盟)となったとき、元親の命令にて西条の黒瀬村へ代官として派遣された人だったのです。いざ黒瀬村に引っ越してきた道信、とても優れた人格者であつたらしくすぐに村人と馴染んでは、みんなから「飛騨はん」と親しみを込めて敬愛されつつ、善政を敷いていました。しかし、ついに天正13(1585)年6月下旬、「天正の陣」に際してたつた八騎で氷見の高尾城へと参陣し、翌月中旬の野々市ケ原決戦にて壮絶な最期を遂げたのです。村人たちは深く悲しみ、小さな祠を建てて道信の御霊をお奉りしました。時間が移ろい、黒瀬村がダム



▲道信は黒瀬峠(写真中央辺り)から、湖底に沈む集落を今も見守っているのかも知れませんね
 ▲おもちゃの刀が奉納されている「飛騨はん」の祠



我が心の西条

第七回

歴史小説家 菅 靖匡

の底に沈んでしまうこととなった昭和47(1972)年、道信の祠は村のあちこちに奉られていた多くの祠とともに、黒瀬峠の頂へと移されました。ことに御礼詣りには玩具の刀を奉納するとよいそうで、『その奉納されていた刀で遊んだこともあった』と、かつて西条市長であられた伊藤一氏が、ご幼少のころを懐かしみながら綴っておられます。

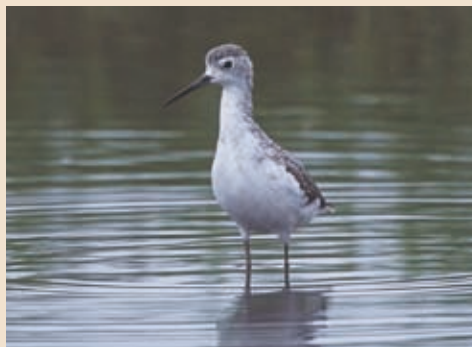
撮影：十亀茂樹

西条バードウォッチング

Saijo Bird Watching

No.84 コアオアシシギ(旅鳥)

全長24.5cm、春と秋の渡りの季節に河口や水田地帯に飛来する、緑青色のスマートな脚と針のように尖った嘴が特徴の数少ないシギです。よく似たアオアシシギとは大きさ、嘴の形などの違いに注意して識別してください。西条では加茂川古川橋付近や禎瑞、氷見蛭子、高須の水田地帯などで見られます。



撮影：十亀茂樹

広告欄

広告欄

食卓に安心を  和牛専門

TAJIMA

西条市氷見 とうしょく氷見店内 ☎0897-57-7071
 西条市丹原町 とうしょく丹原店内 ☎0898-68-0040

くらしのおうえんたい

毎月10日はとうしょくの日

店内全品10%引き

(一部除外品もあります)

とうしょく氷見店 TEL0897-57-7157
 とうしょく丹原店 TEL0898-68-3240

